

編集後記

「子供のときに感じた動くことへの感動」を表す“Zoom-Zoom”のブランドメッセージとともに、マツダの新世代商品群として初代アテンザ、二代目デミオを世に送り出したのは2002年のことでした。その後も、RX-8、アクセラをはじめとする“Zoom-Zoom”を体現する商品を提供し続けてきましたが、いよいよ“Zoom-Zoom”も第2世代に入りました。2巡目のトップバッターとなった新型デミオ、続く新型アテンザはいずれも、環境安全性能とデザインやダイナミック性能を両立させ、昨年に技術開発の長期ビジョンとして策定した「サステイナブル“Zoom-Zoom”」を体現するという進化を遂げています。

新型アテンザの開発テーマは、ズバリ「“Zoom-Zoom”の進化」ですが、私達は今後も更なる『進化』を通して“Zoom-Zoom”を『深化』させ、『新価』（新しい価値）を創造し、そしてその『真価』をお客様に伝えていく努力が必要です。それが、私達の目指す「見て乗りたくなる、乗って楽しくなる、そしてまた乗りたくなる」と感じてもらえるクルマの実現につながると考えています。

本号では、新型デミオ、新型アテンザの特集を組んだほか、環境・安全そして品質の面でマツダ車の『進化』を担う新技术を多く紹介しています。本誌を通してマツダの目指す『進化』の方向をご理解いただければ幸いです。

(中西)

編集委員会

| | | |
|-----|-------|--------------|
| 委員長 | 富山 道雄 | 技術企画部 |
| 委員 | 佐々木克明 | 企画設計部 |
| | 兼品 直和 | 操安性能開発部 |
| | 大段 清二 | ボデー開発部 |
| | 迫野 隆 | パワートレイン技術開発部 |
| | 正守 一郎 | 技術研究所 |
| | 中西 克司 | 生産企画部 |
| 幹事 | 田坂 寿康 | 技術企画部 |
| 事務局 | 馬郡 雄二 | 技術研究所 |
| | 伊東加奈子 | 技術企画部 |

マツダ技報 第26号

発行 平成20年4月
発行人 金井 誠太
編集人 富山 道雄
発行所 マツダ株式会社
商品企画ビジネス戦略本部 技術企画部
〒730-8670
広島県安芸郡府中町新地3番1号
電話 082(287)4106
印刷所 マツダエース株式会社
広島県安芸郡府中町新地3番1号

Mazda Technical Review No.26

April 2008
Publisher Seita Kanai
Editor Michio Tomiyama
Distributor Technology Planning Dept.
Product Planning & Business
Strategy Div.
Mazda Motor Corporation
3-1 Shinchi, Fuchu-cho Aki-gun,
Hiroshima 730-8670, Japan